オルフィン
アセチレン系低起泡性濡れ剤

OLFINE

Point

濡れ性，低起泡性，分散補助性に優れた界面活性剤

代表品番　水溶性物性データ

製品名	水溶解性 (wt%)	静的表面張力 (mN/m)	動的表面張力 (mN/m)		接触角(°)	起泡性(ml)	
			1Hz	10Hz		振とう直後	5分後
E1001C	< 0.1	32	33	36	51	2	0
E1004	< 0.5	32	35	38	57	5	0
E1010	3.0 <	37	41	44	66	15	5
E1023	3.0 <	46	51	53	83	20	16
E1204C	< 0.1	26	27	36	22	5	3
EXP.4123	3.0<	34	39	53	54	8	2
EXP.4200	< 3.0	29	31	42	37	5	0
EXP.4300	< 0.5	27	30	40	15	28	10
フッ素系	-	18	33	62	35	12	11
シリコーン系	-	22	38	59	34	35	32

＊0.1%水溶液にて評価

消泡性データ

抑泡，消泡の双方に効果を発揮し、生産，使用時の泡の低減が可能。



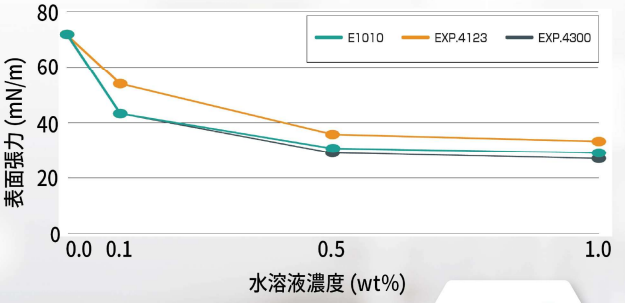
試験方法
（1）静的表面張力 ・・・測定器：DY-500 高機能表面張力計 （協和界面科学社製）
（2）動的表面張力 ・・・測定器：ﾊﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｯｼｬｰ動的表面張力計 型式BP100 (KRUSS社製)
<測定条件> 1Hz ： 1個泡／sec、10Hz ： 10個泡／sec
（3）接触角・・・測定器：DMo-601 自動接触角計 (協和界面科学社製)、
基 材 ：SUS-304 (日本テストパネル社製)、
滴下1秒後を測定。
（4）起泡性・・・0.1%水溶液を100mlメスシリンダーに20ml採取し、
180往復／分×1分間 (振とう幅40mm)
振とうした場合の直後及び5分後の泡高さ (ml) を測定した。

浸透性向上、表面張力低下

添加する事で基材に対する接触角の低減が可能。



添加する事で表面張力を低下させ、基材に対する濡れ性改善が可能。



使用用途

水系インクジェットインク，塗料
電子材料用薬剤
(現像液，エッチング液，CMPスラリー等)

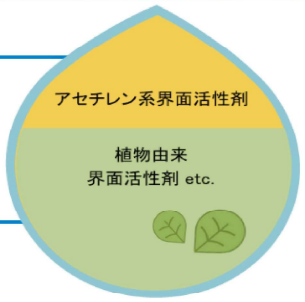


OLFINE

オルフィンBMシリーズ
バイオマス対応レベリング剤

Point

バイオマス原料を使用した界面活性剤
低起泡性でありながら濡れ性の改善が可能です



代表品番　性状

植物由来原料を使用することで25～60%のバイオマス度を実現。
ノニオン性，アニオン性の製品をラインナップ。

	バイオマスオルフィン品番					
	BM1001	BM2001	BM3001	OL-A66	OL-A68	OL-A70
性状	液体	液体	液体	液体	液体	液体
イオン性	ノニオン	ノニオン	ノニオン	アニオン	アニオン	アニオン
有効成分 (%)※1	100	65	90	85	30	50
バイオマス度※2	55	60	55	25	40	35

※1. 残成分は水及び又は水溶性溶剤になります。
※2. バイオマス度は、ASTM D6860 に従い測定と計算をしております。

水溶液物性

少量添加で動的表面張力の低下が期待されます。

	バイオマスオルフィン						オルフィン	一般的な界面活性剤	
	BM1001	BM2001	BM3001	OL-A66	OL-A68	OL-A70	E1010	フッ素系	シリコーン系
溶解性	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明
静的表面張力 [mN/m]	30	28	29	27	27	25	37	18	22
動的表面張力 [mN/m]	39	48	47	28	28	28	43	62	59
起泡性 [mL]	27	10	20	15	28	26	15	12	35

(1) 0.1%水溶液での物性比較
(2) 溶　解　性　・・・ 目視確認
(3) 静的表面張力　・・・ 測定器：DY-500 高機能表面張力計（協和界面科学社製）
(4) 動的表面張力　・・・ 測定器：バブルプレッシャー動的表面張力計 型式BP100（KRUSS社製）〈測定条件〉10Hz：10個泡/sec
(5) 起　泡　性　・・・ 100mL メスシリンダーに試料を20mL 封入し1分間振盪させ、5分間静置した後の泡立ちの高さ(mL)を測定

使用用途

水系インクジェットインク，塗料





オルフィンDIシリーズ

アクリル系高分子分散剤

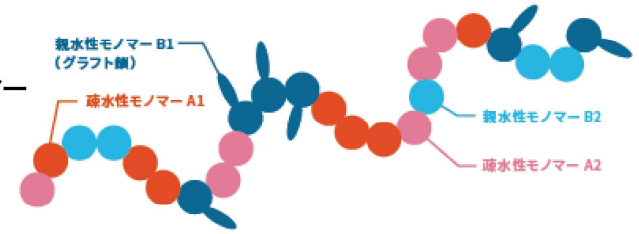
OLFINE

Point

酸化チタンを含む顔料，染料の分散が可能
用途、評価結果に沿ったカスタマイズが可能な新規開発品

構造概念図

複数のアクリル系モノマーを組み合わせたポリマー
親水性，疎水性，分子量等の改良検討が可能



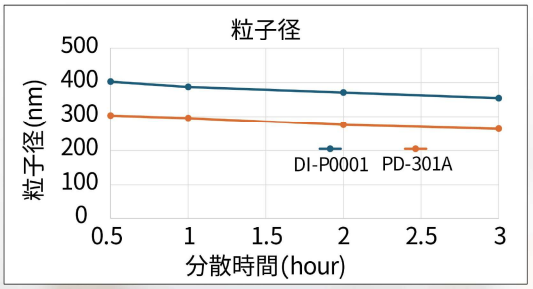
一般性状

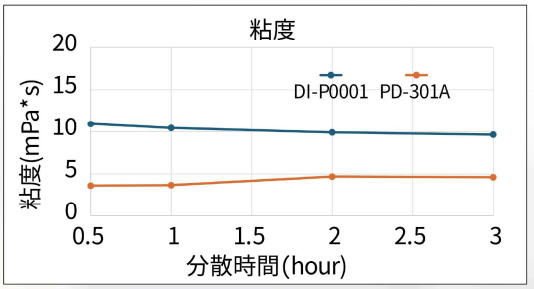
品名	オルフィンDI-P0001
外観	無色～淡黄色透明液体
有効成分 (%)	約20 ※1
イオン性	アニオン性
酸価	210
分子量	10000～30000程度
粘度 (mPa*s)	< 約1000
pH	約9.0
備考	基本ベース組成 親水・疎水性成分のバランス良好

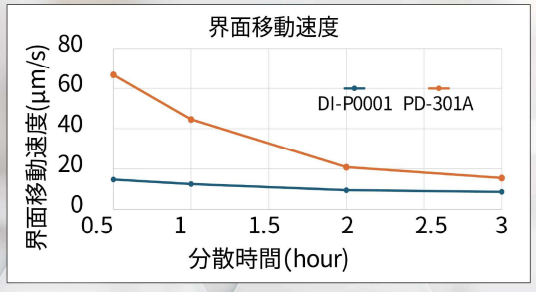
※1 残成分は水となります。

分散，沈降，再分散性データ

DI-P0001は白色顔料を低粘度で分散でき、かつ当社アセチレン系分散剤（PD-301A）と比較し、沈降性，再分散性に優れます。







再分散性

	①分散直後	②加温直後	③再分散直後
DI-P0001	43.5	17.2	35.4
PD-301A	36.1	4.3	15.1

①インク作成直後、
②60℃，3日間加温後の上澄み液、
③60℃，3日間加温後、50回振ったサンプルの上澄み液の固形分を測定。

<分散条件>
顔料：酸化チタン(CR-50-2 石原産業) 40wt% 分散剤量：対顔料比10wt% 分散装置：ペイントシェーカー
メディア：ジルコニアビーズ (Φ1.0mm) 分散時間：0.5hr、1hr、2hr、3hr

使用用途

水系インクジェットインク，水系塗料，機能性コーティング剤